

ご意見・ご要望を
お寄せください

日本共産党 品川区議会報告

発行：日本共産党品川区議団
2016年5月特別号 発行責任者：飯沼雅子
TEL5742-6818(直通) F AX3778 - 3088
ホームページ 共産党品川 検索

リオ五輪視察 一人300万円

視察の必要性は不明確、費用も不明朗。品川区職員と議員の派遣に反対します

二〇一六年五月二四日 日本共産党品川区議団

5月24日、日本共産党品川区議団が「リオデジャネイロ・オリンピック競技大会視察・調査への議員派遣」に反対する左記の声明を発表しました。

濱野品川区長より品川区議会に、今年8月5日からブラジルのリオデジャネイロで開催されるオリンピック競技大会に、

区の職員とともに議員も同行するよう4月に要請がありました。2020年の東京大会で品川区が3競技の会場になるに当たり、8月5日から11日までの7日間、「運営状況等確認」のために文化スポーツ振興部長、オリンピック・パラリンピック準備課長など職員5人が行う視察に「議員2名の同行を」というものです。

①そもそも視察の必要性があるのか

第1は、品川区がそもそもリオ・オリンピックを視察する必要性があるのかと



民進・無所属の賛成多数で議員同行が決定されました。

派遣議員については、第2会派の公明が辞退したため、自民と民進・無所属の会派から1名ずつ派遣されることになり、26日の本会議にかけられることになりました。

日本共産党品川区議団の反対理由は、以下のとおりです。

委員会の中心の東京都とも事前になんかの連携もとっていないというのです。結局、どうして区が視察を行う必要性があるのか、その根拠が示されませんでした。

さらに、23区中9区が競技会場予定地となつていますが、リオのオリンピック視察は品川区だけ。渋谷区議会がパラリンピック視察を行います。他の7区はオリンピックの視察は行いません。なぜ品川区だけが行かないのか不明です。

視察内容も不明確

区は、競技の実施状況、パラリンピックの準備状況、ボラ

4月18日と28日の議会運営委員会（議

ンティアの状況、多言語対応を視察するといいますが、具体的な中身の説明を求めても示されませんでした。これらは、組織委員会や東京都と連携することなく、区が独自に行うものではありません。

また区は、リオの自治体関係者や競技参加国のスポーツ関係者、文化イベントの主催団体から「話が聞きたいと調整しているが会えるかどうかはわからない」とその確証もないまま、視察だけを決めていきます。しかも、この議運での

②一人300万円の高額な視察費。区民の理解は得られません

第2に、区民の理解が得られない高額な視察費用の問題。詳細はなにとつ具体的に説明されませんでした。

視察費用は7人で21

質疑には、議員派遣の要請を行った区の責任ある理事者は出席せず、いずれも理事者側の説明を議会事務局長が代わりに行うというものでした。7日間の視察の日程も大まかな行程表のみ。1日目専用車にて各種視察・調査、2日目「ビーチバレー」視察・調査、3日目「ホッケー」視察・調査、4日目終日各種視察・調査とあるだけ。目的、具体的な視察内容を示した資料の提出を求めてもなんら示されませんでした。

00万円余、1人あたり300万円。
年収200万円以下のワーキングプアは1100万人を超え、1人300万円の視察費はその年

収の1・5倍以上。子ども6人に1人が貧困状態、ひとり親家庭の5割超が貧困。子どもたちが空腹を満たすこともままならない深刻な実態のもとで、「子ども食堂」がつくられ一食300円程度で提供されています。視察費の2100万円は7万食分に相当します。

③税金の無駄遣いー職員の派遣も、議員の同行もやめるべきです

リオの大会に対して区が視察団を送ることはやめるべきです。ましてや議員を2名同行させることには根拠がありません。税金の無駄遣いと言わざるを得ません。日本共産党区議団はこの計画に対して反対を表明し、中止を強く求めています。

しかも、これほどの高額な経費なのに、その内訳も示さない。往復の航空券とホテル代、観戦のため

最後に、いま東京都と品川区がオリンピックを口実に熱中しているのは、巨額の税金を投入してすすめる巨大道路づくりや超高層ビル開発などです。オリンピックをテコに、環境破壊と住民追い出しの「東京大改造計画」の推進です。

オリピック憲章の精神と相いれられません。オリピックの目的は、スポーツを人類の調和の取れた発達に役立てることであり、人間の尊厳保持に重きを置く、平和な社会を推進することです。

日本共産党区議団は、オリンピック憲章の精神に基づき、誰もがスポーツを楽しめる施設や環境、地震に強いまちづくりやバリアフリーなどを思い切つてすすめることこそすべきと考えます。

そうしてこそ、困難を抱える被災地も含めたみんなが歓迎できる東京オリンピック・パラリンピックになると確信します。



日本共産党